

ユーコープ静岡ベース

Ucoop Shizuoka Base

No. 21-034-2024作成
新築
工場・物流施設

発注者	生活協同組合ユーコープ	カテゴリー	
設計・監理	INA新建築研究所(監修・基本設計) フジター級建築士事務所(実施設計・工事監理)	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB
施工	フジタ・木内建設共同企業体	E. リニューアル	F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性 K. その他

環境に配慮した物流拠点施設



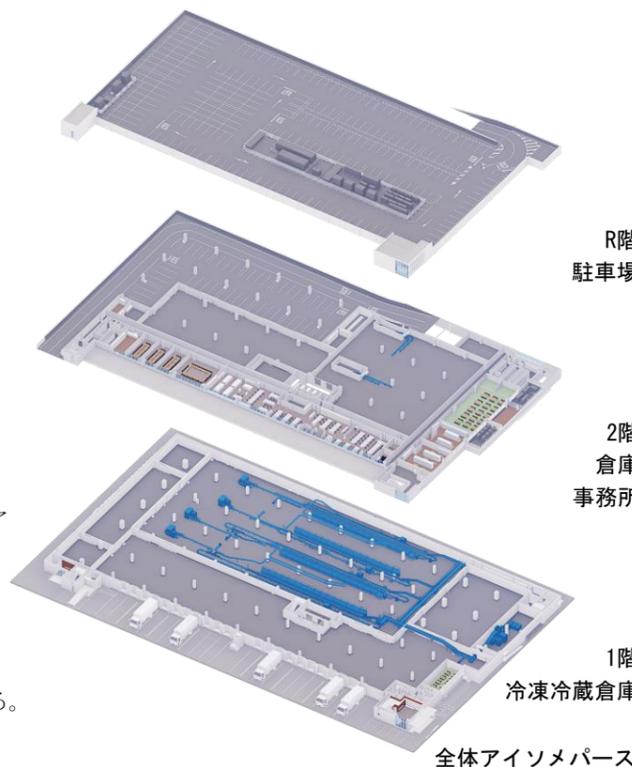
建物正面外観

計画概要

「ユーコープ静岡ベース」は地上2階建て、延べ床面積約16800㎡の冷凍冷蔵倉庫を備えた物流施設である。建設地は工業や物流施設の新産業拠点として整備されている静岡市駿河区の恩田原・片山土地区画整理事業地区の一面にある。発注者の掲げる「「人-社会-自然」の調和ある平和な社会の実現に貢献する」という基本理念のもと、太陽光利用照明の導入など環境負荷低減に寄与するとともに、災害時にも事業継続可能な計画としている。宅配車用の自家給油設備を導入しており静岡県内のユーコープ災害対策拠点となる。

CASBEE静岡 Aランクの取得

本計画は『環境配慮』に積極的に取り組んだ施設である。外装材は断熱性に優れた断熱サンドイッチパネルとし、内装材にもリノリウム・紙壁紙等の自然素材や廃プラスチックを再利用したタイルカーペットを積極的に採用した。外構の舗装材には廃PETを再利用したアスファルトコンクリートや防草シートを取り入れた。システム・エネルギー面では、雨水利用ユニット・太陽光パネル・太陽光利用照明を設置し、自然から得られる水・電力・光を施設内で利用する仕組みとしている。冷凍冷蔵設備機器はオゾン破壊係数ゼロで温暖化係数の低いCO2冷媒のものを採用し、環境省の補助金を取得している。このような取り組みが評価されCASBEE静岡Aランクを取得している。



全体アイソメパース

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価	
所在地	静岡県静岡市	Aランク	
竣工年	2023年	BEE=1.6	
敷地面積	18,104㎡	2016年度版 第三者認証	
延床面積	16,768㎡		
構造	S造 一部RC造		
階数	地上2階		

環境配慮への取り組み

①太陽光利用照明

屋上に太陽光を採り込む光学ドームを設置し、チューブ内で光を反射させながら屋内へ導き、廊下照明として使用している。光学ドームは真夏の強すぎる太陽を遮り、チューブは熱を吸収・放出するため、太陽熱の持込を抑えている。



太陽光利用照明

②廃PET再生利用

廃PETボトルを混合したアスファルトコンクリートを採用している。また、廃PET繊維を織り込んだ除草シートを採用している。廃PETの再生利用で環境負荷低減に寄与している。



PETアスコン

防草シート

③雨水利用ユニット

タンクに貯水した雨水を散水に再利用している。上水を補助的に使うため、降雨量が少ない時期でも利用可能となる。



雨水利用ユニット

外構緑化

④外構緑化

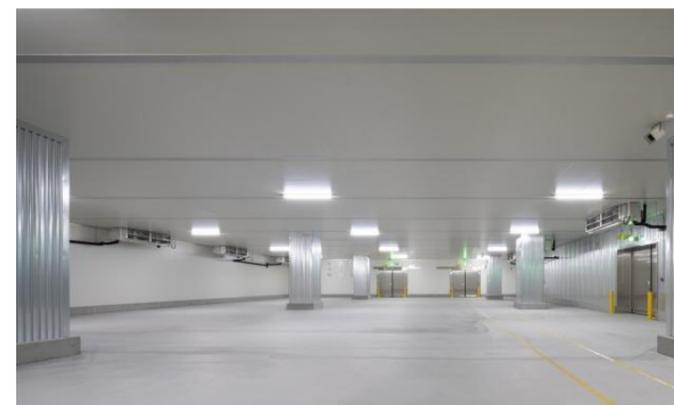
外構全周に緑地及び植栽を計画し、緑被率20%以上を確保している。周辺・地域への景観に配慮している。

⑤昼光センサーによる照明制御

事務室照明に昼光センサーを設置し、周りが明るいときは照度を抑えて、適切な照度に自動調整を行っている。

⑥外気導入CO2濃度制御

居室内に設置するCO2センサーにより全熱交換器を制御し、CO2濃度に応じた換気風量を自動調整を行っている。換気風量を最適化することで外気導入量を必要最低限に抑え、空調負荷を軽減している。



冷凍庫内観



エントランスアプローチ外観

設計担当者

統括：岡本猛士／建築：皆川和朗、山内愛紀／構造：福島泰之、村林生朗、末元健一、横山大樹
設備：村田峻平、浅賀亜里沙、金尾悠也

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 1. 生物環境の保全と創出 (外構緑化)
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮 (防犯対策としてメッシュフェンスを採用)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (外壁断熱サンドイッチパネル)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用 (太陽光利用照明)
- LR2. 1. 水資源保護 (節水型器具、雨水利用ユニット)
- LR2. 2. 非再生資源の使用量削減 (リサイクル材)